

宮崎県教育情報通信ネットワークシステム構築及び運用業務

～新教育ネットひむか～

仕様書

平成28年6月6日

宮崎県教育研修センター

1 概要

(1) 調達目的

本仕様書は、宮崎県教育情報通信ネットワーク（教育ネットひむか）機器及びソフトウェア等構築及び運用業務更新のため、必要な事項を記載している。なお、これは参考仕様であり、機能的にこの仕様を超えるものであれば、提案可とする。

(2) 調達方法

企画提案競技とし、本仕様にある前提条件と要望に対する提案書、プレゼンテーション、価格により充足度合いを総合的に評価を行う。

(3) 調達範囲

機器、ソフトウェア、現状調査と分析、設計、構築、5年間の運用、その他構築に必要な付属品とする。

(4) 運用保守業務の期間

平成29年1月1日から平成33年12月31日とする。

(5) 更新概要

宮崎県教育情報通信ネットワーク（教育ネットひむか）に関係する、すべてのサーバー（VODサーバーと SNS サーバーを除く）、各種スイッチ、ネットワーク機器等を宮崎県サーバ統合基盤に移行し、更新する。

本県のサーバ統合基盤の仕様等は、「宮崎県サーバ統合基盤提供業務サービス仕様書（利用者向け）」を参照し、「2. 3システム担当課とサーバ統合基盤の役割分担」のシステム担当課の役割について受託者で実施すること。

(6) 設置場所

県庁iDC(宮崎中央インターネットデータセンター)の宮崎県サーバ統合基盤とし、安定性や不正侵入等に対する安全性を高め、5年間の運用を見据えて構築を行う。

ただし、サーバー監視端末1台とWeb開発及び管理端末7台、セキュリティーサービスの一部は、教育研修センターに設置する。

(7) 基礎データ

①利用機関範囲

現教育ネットひむかは、宮崎中央iDC及び一部宮崎県教育研修センターに設備を設置し、下記機関が利用している。利用機関の範囲は、次のとおりである。

- ・ 県立の学校及び学校以外の教育機関
- ・ 県内の市町村立の学校及び学校以外の教育機関
- ・ 県教育委員会事務局及び市町村教育委員会事務局
- ・ 前各号に定めるもののほか、県教育委員会が適当と認める機関

②システムの利用者

- ・ インターネット利用者数：0～20,500人（最大約14万人）
- ・ 発行メールアカウント数（個人用＋機関用）：約4,500（最大15,000アカウント発行予定）
- ・ Web ページ利用機関数：約450機関
- ・ インターネット接続パソコン台数：約24,200台（平成27年3月時点）

(職員用パソコン：約8,800台 児童・生徒用パソコン：約15,400台)

2 業務内容

(1) 設計業務

- ① ネットワーク設計
 - ・「Ⅱ ネットワーク要件」を満たすネットワーク設計
- ② システム設計
 - ・「Ⅲ サービス要件」を満たすシステム設計
- ③ 保守・運用設計
 - ・新教育ネットひむかを運用するにあたっての実施手順の設計
 - ・バックアップ、リストアに関する運用設計

(2) 施工業務

- ① ネットワーク構築
 - ・新教育ネットひむかに関するネットワーク構築
- ② サーバー構築
- ③ システム構築
- ④ ホームページのデザイン等の修正
 - ・教育研修センターが公開しているWebページの一部デザイン等の修正
- ⑤ 施工管理
 - ・実施工程表、施工計画書の作成
 - ・進捗報告
- ⑥ 総合運用試験
 - ・構築した環境での総合的な運用試験

(3) データ移行業務

- ① Webコンテンツ移行
- ② メールアカウント移行
- ③ システム環境移行

(4) 保守業務

- ① ハードウェア保守
 - ・ハードウェアを維持するために必要な保守業務
- ② システム保守
 - ・システムを稼働するために必要な保守業務
- ③ 運用業務
 - ・新教育ネットひむかを正常に運用するために必要な業務
- ④ サポート（ヘルプデスク）業務
 - ・利用者からの問い合わせに対応する業務
- ⑤ 情報化コーディネータ業務
 - ・利用者等からの依頼により、学校等を訪問して調査や支援する業務

3 移行方針

資料1「移行方針表」を参照すること。

Ⅱ ネットワーク要件

1 ネットワーク要件

(1) 設置場所

県庁iDC(宮崎中央インターネットデータセンター)のサーバ統合基盤を主とし、一部教育研修センターとする。

(2) 使用回線

県庁iDCからインターネットへの上位回線については、九州通信ネットワーク株式会社の「コンピューター通信網サービス」(150Mbps)を利用すること。その他、県庁iDCから教育研修センター設置の保守用パソコンとの接続回線を利用すること。以上のことについては、資料2「新教育ネットひむかネットワークイメージ図」を参照すること。

(3) アドレス体系

IPv4とするが、導入するネットワーク機器についてはIPv6に移行が可能であること。

(4) ネットワーク機器の構成と配置

「Ⅲ サービス要件」及び資料3「新教育ネットひむかシステム構成イメージ図」、資料4「現教育ネットひむかシステム構成図」を参照し、最適な機器の構成・配置を行うこと。

(5) 論理構成

ネットワークアドレス体系は、原則として現行アドレス体系を踏襲するものとする。また、訪問者による、所内リソースへのアクセスを容易にできない仕組みとすることとし、利用できる機能としては、指定された場所からのインターネットアクセスのみとすることとその際の利用ログを取得可能なこと。

(6) その他

将来インターネットへの上位回線が最大1Gbps程度になることを想定して、機器を調達し構成すること。

上記以外に5年間の運用で必要と思われる事項があれば、提案内容に盛り込むこと。

Ⅲ サービス要件

1 DNSサービス

DNSサービスとは教育ネットひむか内外のIPアドレス及びドメイン名を管理するサービスである。

(1) 機能要件

- ・プライマリー及びセカンダリーの2台構成になっていること。
- ・今後使用する可能性のあるバーチャルドメインに対応すること。
- ・サイト内からの逆引きが可能であること。
- ・教育研修センターで利用しているドメインの名前解決が可能であること。

(2) 移行要件

- ・現在利用しているドメインのゾーン情報を移行すること。

miyazaki-c.ed.jp

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。(サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい)

2 メールサービス

(1) 機能要件

- ・15,000以上のアカウントが利用可能であること。
- ・メーリングリスト機能があること。
- ・利用者側でアカウントやパスワード、ニックネーム(エイリアス名等)を確認し、パスワードやニックネームを変更することができる機能があること。
- ・メール保存期間(別途設定)を過ぎると自動的に削除される機能があること。
- ・利用者が、携帯電話、スマートホン、携帯端末等のWeb機能を利用して、メールの送受信が利用できることが望ましい。
- ・Webメールが国内携帯3キャリア (docomo、au、Softbank) に対応していることが望ましい。
- ・送信できる添付ファイルのサイズ制限が、管理者側で設定できること。
- ・利用者が、パソコンWeb機能を利用 (Webメール) して、メールの送受信が利用できる現在稼働中のWebメール以上の機能を有すること。

なお、現在のWebメールの主な機能については次の通りである。

- ・ユーザ認証(ログイン)機能
- ・メール表示機能(一覧、本文、添付、アドレス帳)
- ・メール作成・返信・転送・削除機能
- ・アドレス帳管理機能(登録、更新、削除、インポート、エクスポート)
- ・利用者情報管理機能(名前・パスワード変更、署名編集)
- ・フォルダ設定機能(フォルダ追加、変更、削除)
- ・メール振り分け機能(ルール追加、変更、削除)
- ・Webメールでは、inline形式についても添付ファイルを受信できること。
- ・1アカウント当たりの容量は、300MBであること。
- ・添付ファイルの最大送受信容量/通は10MBであること。
- ・Webメールでは、誤送信の防止機能と5分以内の誤送信メール回収機能を有すること。
- ・SPAMメール対策機能を有し、SPAM判定メールの個人管理機能もあること。
- ・Webメールでも、SPAMメール自動振り分け機能があること。

(2) 移行要件

- ・現在利用中の申請及び発行に係る情報メールアカウント/パスワード/ニックネーム(エイリアス名等)をすべて移行すること
- ・現在利用中のメーリングリストとそのメンバーをすべて移行すること。
- ・上記機能要件になるように、現行のメールサービスに機能を追加すること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。(サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい)
- ・過去3か月以上の送受信ログを残すこと。

3 研修センター系Webサービス

研修センター系Webサービスとは、教育ネットひむか及び教育研修センターのWebページで各種教育情報提供を行っているサービスである。

(1) 機能要件

- ・教育研修センターのコンテンツをインターネット経由で公開すること。
- ・運用開始後の更新が、教育研修センター職員で容易に可能であること。

(2) 移行要件

- ・移行においてURLの変更は行わないこと。
- ・教育ネットひむかトップページについては、デザイン等を修正すること。
- ・現在の各WebページやDBを全て移行し、またそれに付随する機能をすべて引き継ぐことができること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。(サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい)
- ・過去1年以上のアクセスログを残すこと。

4 学校系Webサービス

学校系Webサービスとは、学校や教育機関の情報発信のためのWebページ及びCMSページを提供するためのサービスである。

(1) 機能要件

- ・公立学校、県立学校、教育関係機関のページを公開すること。
- ・1機関あたりのWebページ領域として、2GB以上の領域が使用できること。
- ・700機関以上のWebページが利用可能であること。
- ・1機関あたりのWebページの使用領域を制限することができる機能があること。
- ・各機関のページ使用容量が把握できること。
- ・あらかじめ登録された各教育機関からの、FTPによるページアップロードが可能であること。
- ・Webページに関して、CGIの動作制限がかけられること。
- ・CMS (NetCommons) に関しては、現在稼働中のサービスが正常に稼働すること。
- ・1機関あたりのCMSによるページ領域として、2GB以上の領域が使用できること。
- ・700機関以上のCMSページの利用が可能であること。
- ・各機関のCMSページの使用容量が把握できること。また、1機関あたりのそれぞれのページの使用領域を制限することができる機能があることが望ましい。

(2) 移行要件

- ・現在のWebページについては、全てのコンテンツをすべて移行すること。
- ・現在稼働中のCMSサービスのプログラム及びデータをすべて移行すること。
- ・各ページのURL、アカウント、パスワードの変更は行わないこと。
- ・CMSサービスは、SSL対応とすること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと（サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい）
- ・ログを集計し、ログは、教育研修センター職員での二次利用が可能であること。
また、ログは2か月以上保存すること。
- ・CMSサービスのNetCommonsのアップデートやバージョンアップに対応すること。
- ・本システムで使用するNetCommonsのアップデート、拡張モジュールの追加、バージョンアップを実施する際は、事前に十分な検証を行った後、教育研修センターの承認を得た上で本番環境に適用すること。
- ・CMSによるページについては、現在準備しているアカウントが不足したら、即時追加すること。

5 コミュニケーションサービス

コミュニケーションサービスとは、複数の機関がパソコンに接続されたWebカメラとマイクを利用して、リアルタイムで相手画像を見ながらコミュニケーションをとるサービスである。

(1) 機能要件

- ・最低10対向の同時接続が可能なこと。
- ・クライアントOSはWindows 7以降に対応することとし、今後発売される新OSに対応できることが望ましい。
- ・現在導入しているひむかTV会議システム以上の機能を有すること。（現在 Web 会議システム IC3（アイシーキューブ） Ver.8 を使用）
- ・利用者は、Webブラウザのみで動作が可能であり、有償専用ソフトウェアを必要としないこと。
- ・利用者で会議室毎に事前予約ができること。
- ・タブレット端末（iOS、Android、Windows）からの利用が可能であること。

(2) 移行要件

- ・新規導入

(3) 運用/保守要件

- ・全ての会議のログ（日時、会議参加者）を残すこと。

6 その他の情報発信サービス

その他の情報発信サービスとは、「**3 学校系Webサービス**」以外での情報発信のためのサービスであり、ブログ、携帯版ページ、図書検索ページのことを指している。

(1) 機能要件

- ・現在稼働中のサービスが正常に稼働すること。
- ・1機関あたりのブログページ領域として、1GB以上の領域が使用できること。
- ・700機関以上のブログページの利用が可能であること。
- ・各機関のブログページの使用容量が把握できること。また、1機関あたりのそれぞれのページの使用領域を制限することができる機能があることが望ましい。

(2) 移行要件

- ・現在稼働中の各サービスのプログラム及びデータをすべて移行すること。

- ・各ページのURL、アカウント、パスワードの変更は行わないこと。
- ・ブログサービスとCMSサービスは別サーバーとすること。
- ・各サービスの移行については、現行システムの構築業者と協議すること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。(サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい)
- ・ログを集計し、ログは、教育研修センター職員での二次利用が可能であること。
また、ログは2か月以上保存すること。
- ・ブログページ、携帯版ページについては、現在準備しているアカウントが不足したら、即時追加すること。

7 教育資料DBサービス

教育資料DBサービスとは、学習指導案や指導計画などの教育資料を検索・登録して利用するためのサービスである。

(1) 機能要件

- ・Webブラウザ上で教育資料の検索・登録ができること。

(2) 移行要件

- ・現在のページやDB及びシステムを移行すること。
- ・各サービスの移行については、現行システムの構築業者と協議すること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。(サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい)

8 ファイル転送サービス

ファイル転送サービスとは、メールで送信しにくい容量の大きなファイルをWebサイトにアップロードし、受信者にそのリンク先を通知するサービスである。

(1) 機能要件

- ・教育ネットひむかのネットワーク利用者間及び外部からの送信において、ファイルを相手のファイルBOXにアップロードして、相手にメールで通知するシステムであること。なお、教育ネットひむかのネットワーク利用者から外部への送信はできないこと。
- ・ファイル転送サービス及びファイルBOXへの接続には、教育ネットひむかが発行するメールアカウント（ニックネームでも可）とメールパスワードが必要であること。
- ・外部からの送信を依頼する場合は、ファイル転送サービス内から一時的なIDとパスワードを外部利用者にメールで発行し、外部利用者がファイル転送サービスからアップロードできること。
- ・一度にアップロードできるファイル数は、5ファイルまでであり、その合計ファイルサイズは、最大100MBまでとする。
- ・アップロードされたファイルは48時間後に自動的に削除させること。
- ・送信者は、アップロードしたファイルを削除可能であり、送受信履歴も確認できること。
- ・システム管理者（教育研修センター）の許可で、外部への送信が可能なこと。
- ・同時接続数は、20アカウントまでとする。

- ・ウイルスチェック機能を有すること。
- (2) 設置要件
- ・新規導入
 - ・現在稼働中のサービスに影響がないこと。
 - ・SSL対応であること。
- (3) 運用/保守要件
- ・全ての利用ログを残すこと。

9 映像配信サービス

インターネットで e-研修は、県内の教職員が教育研修センターで行われる講座や講演及びスーパーティーチャーの授業等のビデオコンテンツを活用し、各学校での校内研修や個人研修を支援する目的で、映像を配信するものである。映像配信サービスは、このためのビデオコンテンツを記録し、配信するためのサービスである。現在約40のコンテンツを有している。

- (1) 機能要件
- ・新教育ネットひむかのネットワーク上で、現在のVODサーバーが正常に稼働すること。
- (2) 移行要件
- ・サーバー本体を含めてすべて移行すること。
 - ・移行においてURLの変更は行わないこと。
 - ・現在稼働中のサーバーを、新ひむかのネットワーク上で利用できるように設定すること。
- (3) 運用/保守要件
- 無し

10 フィルタリングサービス

- (1) 機能要件
- ・ホワイトリスト方式・ブラックリスト方式によるフィルタリングが可能であり、リストの追加削除が手動でも可能であること。
 - ・ブラックリストのカテゴリとして、日本のインターネット文化にマッチしていること。
 - ・有害情報と同居している有益な情報だけを閲覧できること。(YouTube コンテンツ投稿をキーを基に閲覧許可、不許可にすることができること。また、投稿キーを登録するためのサポートツールを提供すること。* NHK や文部科学省等の投稿など)
 - ・コンテンツフィルタリングのレベルを利用者のレベルに応じ、3段階以上設定できること。また、利用者の希望に応じてカスタマイズできること。
 - ・暗号化サイト (https) にも対応すること。
 - ・タブレット端末 (iOS、Android、Windows) にも対応すること。
 - ・利用上の注意やセキュリティ対策などのメッセージを利用者が使用する PC のブラウザ上に表示するインフォメーション機能を有すること。
 - ・現在導入しているフィルタリングシステム以上の機能を有すること。(現在 i-FILTER Ver.8 を使用)
- (2) 移行要件
- ・新規導入

- ・必要に応じて現在のブラックリスト及びホワイトリストを移行すること。
- (3) 運用/保守要件

- ・新たな有害サイトが、自動的にブラックリストに追加されること。
- ・各学校において、SSL証明書のインストールをサポートすること。

11 セキュリティサービス

(1) 機能要件

- ・不正侵入検知・ウイルス対策ゲートウェイ機能を有すること。
- ・ネットワークからの接続及び閲覧やSPAMメールなどの通信の負荷を分散させ、快適なインターネット接続環境を提供すること。
- ・不正な接続や攻撃に対する防御やアンチウイルス対策を行い、安全なインターネット接続環境を提供すること。
- ・ファイアウォール機能を有すること。
- ・標的型攻撃にも対応できる機能を有すること。
- ・サーバープロテクト機能を有すること。

(2) 移行要件

- ・新規導入
- ・新ひむかサーバーの設置場所（県庁 i D C）及び教育研修センターに設置し、運用すること。

(3) 運用/保守要件

- ・教育研修センター職員からの指示によりセキュリティポリシーの追加・変更・削除が行えること。

12 運用管理サービス

運用管理サービスとは教育ネットひむかにおけるメールやWeb及びCMS等のサブシステムのアカウントやアドレス等の管理をつかさどるサービスである。

(1) 機能要件

- ・独自システムを開発・運用しているため、調査・分析の上で新規構築を行うこと。
- ・既存システムと同等以上の機能を有すること。

運用管理サービスの主な機能については次の通りである。

- ・ユーザ認証(ログイン)機能
- ・運用番号管理機能(決裁番号の検索、登録、変更、削除)
- ・職員情報管理機能(職員情報・メール情報の登録、変更、削除、通知書印刷)
- ・学校情報管理機能(学校情報・メール・FTP情報の登録、変更、削除、通知書印刷)
- ・メンバーリスト管理(検索、登録、変更、削除、メンバー一覧表示)
- ・アカウント情報、学校情報、利用状況を一元的に管理（登録・修正・削除・検索）が、教育研修センター職員でできること。
- ・アカウントをロックする設定及び解除が、教育研修センター職員でできること。
- ・教育研修センター職員が、サーバーの負荷状態、ネットワークのトラフィック状況等を、リアルタイムに確認できる機能を有すること。
- ・メール利用を承認されているひむか利用者が、Webを経由してメールのパスワードの変更、

ニックネームの新規登録、変更ができること。

(2) 移行要件

- ・新規導入

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。(サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい)
- ・日常的なサーバー等のシステム監視が可能なこと。

IV 調達物品に備えるべき要件

1 調達物品全般

- ・前記「**Ⅲ サービス要件**」および資料2「新教育ネットひむかネットワークイメージ図」、資料3「新教育ネットひむかシステム構成イメージ図」、資料4「現教育ネットひむかシステム構成図」を参照し、宮崎県サーバ統合基盤により提供される物品(ハード、ソフト、ライセンス)以外に必要な物品(ハード、ソフト、ライセンス)をすべて調達し構成すること。

2 サーバー、ストレージ関係

- ・5年後においても前記「**Ⅲ サービス要件**」を十分に満たす性能、機能を有すること。
- ・サーバー及びストレージは、宮崎県サーバ統合基盤により提供されるが、その構成等においては、今後のサービス追加や冗長性・拡張性を踏まえる提案が望ましい。
なお、今年度のシステム構築において、宮崎県サーバ統合基盤が仮想マシンに割当て可能なメモリの上限は100GBとする。
- ・今後の運用保守を考慮して、保守とサポート体制を確実に提供できること。

3 ネットワーク関係

- ・5年後においても前記「**Ⅱ ネットワーク要件**」、「**Ⅲ サービス要件**」を十分に満たす性能、機能を有した構成であること。
- ・ネットワーク機器については、今後のネットワーク拡張性(高速化とセキュリティ向上)に備え、ギガビットイーサネットの冗長構成にすること。
- ・必要に応じて、回線が増速した場合でも十分に耐えうるネットワーク機器を選定すること。
- ・ファイアウォール装置は、教育研修センター利用環境を考慮した十分な性能であること。

4 保守用パソコン

(1) サーバー監視端末1台

- ・各監視対象に対して、定期的なステータス確認を行い、サーバーのステータス及びリソース状況を一元的に監視できること。
- ・リモート接続用としても利用でき、教育研修センターからのリモートによる操作等が行える環境とすること。
- ・スペック等については、資料5「保守用パソコン使用要件」を満たしていること。

(2) センター側Web開発及び管理端末用7台

- ・管理用として、各ページの更新等が行えると共に、運用管理サービスが行えること。
- ・スペック等については、資料5「保守用パソコン使用要件」を満たしていること。

5 ライセンスの更新が必要な既存ソフトウェア

- ・TRSL Trend Micro ウイルスバスター Corp. Client 更新アカデミックの130クライアントライセンス5年間
- ・サイボーズ Office10 SW 保守ライセンス（100ユーザー版）5年間
- ・ホームページビルダー J-License(40クライアント) 5年間

V 運用・保守要件

1 保守・運用要件

- ・保守作業を行う際は、事業者が作成し教育研修センターが承認した業務内容及び保守マニュアル、セキュリティ基準に従って実施すること。実施した作業は記録書に残し、一定期間保管すること。
- ・本仕様書に何らかの疑義が生じた場合や、本仕様書に記載のない事項は、教育研修センターと受託事業者が別途協議の上、決定するものとする。
- ・教育研修センターから、システムの利用に関する技術や運用等についての質問に対して、迅速に対応すること。
- ・サーバーOSへのセキュリティパッチ適用等の予防保守を実施すること。
- ・ウイルス対策を施し、自動的にパターンファイルを更新するなどのメンテナンスを行うこと。
- ・専用サポート窓口（ヘルプデスク）を開設し、利用者からの電話やメールによる問い合わせに回答すること。その問い合わせ内容と対応については、定例会にて報告すること。
- ・情報化コーディネータ業務として、利用者からの依頼に応じて学校を訪問し、調査や支援を行うこと。
- ・運用課題や問題点等に対する改善策の提案（コンサルティング）をすること。
- ・死活監視、プロセス監視の仕組みを導入し、障害を検知できること。（サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい）
- ・導入、構築、保守を請け負った範囲に関して、障害が発生した場合には、オンサイトによる迅速な復旧対応を実施すること。
- ・障害発生時は、受託事業者の責任として回線業者、保守業者、メーカーなど、しかるべき保守先にエスカレーションし、教育研修センター職員への負担を掛けずに最後まで対応すること。なお、障害対応結果は毎月の定例会で報告書として提出すること。
- ・対応時間は土曜、祝祭日、年末年始等の閉庁日を除く 8時30分～17時00分であり、この間に発生した障害は、当日対応を基本とする。時間外の障害発生については、基本的に翌営業日8時30分から復旧作業に着手すること。
- ・トラブル対策及び教育研修センターへの報告に必要なログは、全て残すこと。

(1) 運用代行の役務

- ・長期未使用のユーザーアカウントのリスト化と、定例会での報告
- ・メーリングリストの作成・修正・削除
- ・メーリングリストメンバーの登録・修正・削除
- ・導入した機器の管理
- ・バックアップ作業
- ・導入機器等に関する構成管理帳票の更新業務
- ・システム障害発生時の調査・復旧と、教育研修センターへの通報および報告書の作成・提出

(2) 報告業務

サーバー及びネットワークの利用状況を、教育研修センター職員が把握できるように報告を帳票（承認決済用）で提出すること。報告業務の種類は下に示すが、内容については業者が決定後、教育研修センターと協議すること。

- ① 週次業務報告
- ② 月次業務報告
- ③ 年次業務報告
- ④ 臨時業務報告

(3) 定例会

導入後は利便性の向上、障害の事前検知、課題や問題の改善を継続する必要がある。また新規サービスを追加、提供していくために様々な角度からの提案を継続して役務提供できること。

- ① 月1回以上の実施項目
 - ・各種報告書の提出と説明
- ② 3か月に1回以上の実施項目
 - ・事前検知しているシステムの問題点や課題の報告と、その解決策の提言
 - ・新しい技術や製品の紹介と、導入メリットの説明および費用対効果の提示
 - ・CMS（NetCommons）のバージョンアップ提案

(4) ヘルプデスク業務の提供

ヘルプデスク業務における必要な事項を以下に定め、契約の適正な履行の確保を図ること。

- ① 業務の実施時間
 - ・土曜、祝祭日、年末年始等の閉庁日を除く 8時30分～17時00分
- ② 業務内容
 - ・電話やメールによる利用者（教職員、教育機関）からの問い合わせに対応する。構築範囲外の問い合わせについてもワンストップで対応できることが望ましい。
 - ・問い合わせの種類
 - ・教育ネットひむかへの接続に係るパソコンの通信設定に関すること。
 - ・教育ネットひむかで提供する各種コンテンツの操作方法に関すること。
 - ・インターネット接続（遅い、繋がらない等）に関すること。
 - ・各種パスワードの初期化に関すること。
 - ・ユーザーアカウントのロック、及びロック解除に関すること。
 - ・ウイルスやセキュリティに関すること。

VI その他の要件

1 移行要件全般

- ・既存システムからのデータ移行を、受託者の責任において実施すること。
- ・システム及びデータの移行方策を決定し、具体的な移行手順を策定すること。
- ・成果物として、システム移行手順書を作成すること。
- ・移行スケジュールについては、宮崎県情報政策課、宮崎県サーバ統合基盤関係機関、各システムの保守企業、本調達の受託事業者で協議・調整の上、実施すること。
- ・教育ネットひむかで取り扱う情報資産の機密性・完全性・可用性を確保すること。

2 搬入・据付・配線・調整

- ① 機器の設置に関しては、採択後に、関係部署を交えた協議を実施し詳細は決定するものとする。
宮崎県サーバ統合基盤（宮崎中央iDC）設置機器 : 情報政策課
教育研修センター設定機器 : 教育研修センター 総務課
- ② 既存のVODサーバー機器の移行については、供給者が立ち会い、正しく搬入されていることの確認を行うこと。
- ③ ラックマウント機器は、上記で定める作業に追加して、19インチラックへの据付と配線を行うこと。

3 その他

- ・すべての機器及びシステムにおいて、IPv6への移行が可能であること。
- ・利用機関トラブル解決のためのトラブル対処サイトを作ること。
- ・その他、必要と思われる機能があれば提案に盛り込むこと。
- ・必要となるライセンスすべてを提供すること。
- ・ソフトウェアのユーザーライセンスについては、利用者増加となっても追加費用が発生しないことが望ましいため、その点を十分考慮して提案すること。
- ・移行後は最新のソフトウェア構成で運用を開始すること。また、既存ソフトウェアのバージョンが古くなった場合は、導入したソフトウェアと同一バージョン内でアップデートを実施すること。
- ・導入時スケジュールは、教育研修センターと協議すること。
- ・導入時に必要となる部材、ケーブル、消耗品に掛かる費用を含むこと。
- ・導入後、集合教育を実施すること。（内容と期間については別途協議）
- ・現在のサーバーの構築を行った業者への問い合わせが必要な場合は、教育研修センターに問い合わせること。
- ・九州通信ネットワーク株式会社の「コンピューター通信網サービス」の回線費用については、調達範囲としない。
- ・次期更新時には、次期更新業者に、更新に必要なデータ及び情報の全てを引き渡すこと。

1 提出項目

- (1) 企画提案申請書
- (2) 企画提案書
- (3) 導入スケジュール
- (4) 導入体制図
- (5) 保守体制図
- (6) 見積書

2 納入後の提出物

- (1) 導入したハードウェア・ソフトウェア構成（シリアルNo等も含め明示すること。）
- (2) 設計情報、パラメーターシート
- (3) ネットワーク構成図、システム構成図、ラック構成図、IPアドレスなど
- (4) 操作マニュアル（管理者向け、利用者向け）
- (5) 保守業務の提供に必要となるドキュメントすべて
- (6) 障害対応に必要となるドキュメントすべて
- (7) ヘルプデスク業務の提供に必要となるドキュメントすべて
- (8) 情報化コーディネータ業務の提供に必要となるドキュメントすべて
- (8) 連絡体制図
- (9) 保守体制図
- (10) 運用体制図